

令和4年7月吉日

各都道府県教育委員会教育長 殿  
各市区町村教育委員会教育長 殿  
各都道府県国語教育研究会長 殿  
各 学 校 長 殿  
各 関 係 者 殿

全日本中学校国語教育研究協議会  
会 長 勝 田 敏 行  
(足立区立千寿桜堤中学校長)

九州地区中学校国語教育研究協議会  
鹿児島県中学校国語教育研究会  
会 長 長 崎 伸 一  
(鹿児島市立南中学校長)

第51回 全日本中学校国語教育研究協議会 鹿児島大会  
第45回 九州地区中学校国語教育研究大会 鹿児島大会  
第51回 鹿児島県中学校国語教育研究大会 鹿児島大会  
(第二次案内)



【研究主題】  
未来を切り拓く「ことばの力」を高める国語科教育

いにしえ とな かい  
古の道を聞きても唱えても我が行いにせざば甲斐なし

「昔の賢い人の立派な教えや学問も、口に唱えるだけで、実行しなければ役に立たない。実践・実行が最も大切であるということだ。」

戦国時代の武将、島津忠良の「日新公いろは歌」の一節で、薩摩藩郷中教育の基本書でもあり、かの西郷隆盛や大久保利通もこの歌をそらんじて育ったと言われています。

今大会多くの研究実践等が報告されるでしょうが、この大会で得た知見をそれぞれが自分の教室で実践・実行することこそが大切だと考えます。率先垂範、率先躬行を目指したいものです。三年ぶりの対面開催を楽しみにしています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

— 開催要項 —

- 1 主催 全日本中学校国語教育研究協議会 九州地区中学校国語教育研究協議会  
鹿児島県中学校国語教育研究会
- 2 共催 鹿児島県教育委員会
- 3 後援 文部科学省 鹿児島市教育委員会 日本教育公務員弘済会鹿児島支部
- 4 期日 令和4年10月13日(木)・14日(金)
- 5 会場 かごしま県民交流センター[鹿児島市山下町14番50号]  
(全中国研理事会・レセプション会場:エルセルモ鹿児島[鹿児島市照国町11番27号])

6 日 程

				12:00	12:50	13:50	14:00		15:00	15:15		16:45	
13日 (木)	〔九中国研理事会 11:00~12:00〕 〔かごしま県民交流センター〕		受付	開会行事 基調提案	休憩	文部科学省 講 話	休憩	記念講演					
				〔全中国研理事会 17:40~18:30 エルセルモ鹿児島〕		〔レセプション 18:30~20:30 エルセルモ鹿児島〕							
				9:00	9:45	10:35	10:50	12:00	13:00		15:15	15:30	16:00
14日 (金)	受付	公開授業	休憩	授業研究 研究協議	昼食 休憩	研究発表	全国 13:00~14:00 九州 14:15~15:15	休憩	閉会 行事				

7 公開授業、授業研究・研究協議

研究テーマ				単元名等			
授業者	指導助言者	授業研究・司会者	授業研究・記録者				
<b>第1部会 話すこと・聞くこと</b>				<b>大研修室 第1(東棟3階)</b>			
言葉を吟味し「話す・聞く」能力を高める指導法の工夫 ※この授業はビデオ上映と与論中学校との中継で公開する予定です。				与論の方言を全国に広げよう (2年「魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする」)			
与論町立与論中学校 教諭 野村 優也	鹿児島女子短期大学児童教育学科 准教授 藤川 和也	鹿児島市立伊敷中学校 教諭 小川 皓聖	鹿児島市立南中学校 教諭 塚原 祥子	〔部会責任者〕部長：鹿児島市立坂元中学校 教諭 三神 守 副部長：鹿児島大学教育学部附属中学校 教諭 小笠原 淳			
<b>第2部会 書くことⅠ(説明的な文章)</b>				<b>大研修室 第3(東棟4階)</b>			
言葉の吟味を重ね、自分が書いた文章について捉え直し、文章を整えて書くことができる指導法(推敲を中心に)				作品の魅力を引き出す鑑賞文を書こう (2年「魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く」)			
鹿児島大学教育学部附属中学校 教諭 吉川 真悟	鹿児島大学教育学部 教授 上谷順三郎	鹿児島県立楠隼中学校 教諭 加世田芳史	南さつま市立坊津学園 教諭 藤原 大昂	〔部会責任者〕部長：日置市立伊集院中学校 教諭 矢田目 美樹 副部長：鹿児島市立緑丘中学校 教諭 稲留 佳世			
<b>第3部会 書くことⅡ(文学的な文章)</b>				<b>大研修室 第4(東棟4階)</b>			
より豊かな人生の礎となる、思い描いた自分の世界を生き生きと表現する力を育む「書くこと」の指導法の工夫				「思い描く自分の世界」を相手に伝えるために構成や展開を工夫して書こう(2年「『ある日の自分』の物語を書く」)			
鹿児島市立伊敷中学校 教諭 井手口美優	鹿児島大学教育学部 准教授 原田 義則	指宿市立北指宿中学校 教諭 森武 忍	龍郷町立龍北中学校 教諭 吉峯 八重	〔部会責任者〕部長：鹿屋市立串良中学校 教諭 永野 佑樹 副部長：指宿市立北指宿中学校 教諭 森武 忍			
<b>第4部会 読むことⅠ(説明的な文章)</b>				<b>中ホール(西館2階)</b>			
言葉を手掛かりに、論理的に思考する、自律した学習者を育てる指導法の工夫				筆者になりきり対談原稿を作成しよう (2年「きみは『最後の晩餐』を知っているか』『最後の晩餐』の新しさ」)			
薩摩川内市立川内北中学校 教諭 立和田純也	奄美市立朝日中学校 校長 山 宗功	薩摩川内市立東郷学園義務教育学校 教頭 前田 壮一	霧島市立陵南中学校 教諭 南 睦美	〔部会責任者〕部長：鹿児島市立吉田北中学校 教諭 村永 理恵 副部長：鹿児島市立明和中学校 教諭 小西 友佳			
<b>第5部会 読むことⅡ(文学的な文章)</b>				<b>大ホール(西館2階)</b>			
文学に「読み浸る」生徒を育成する国語科学習指導の在り方～多様な他者との協働的な学びの実現を目指して～				自分の「読みの世界」を伝えるブックレビューを通して、自己と対峙しながら読み深めよう(2年「走れメロス」)			
鹿屋市立花岡中学校 教諭 池田 美穂	鹿児島国際大学 副学長 千々岩弘一	伊仙町立犬田布中学校 教諭 浪瀬 慶視	鹿児島市立和田中学校 教諭 大迫 暢子	〔部会責任者〕部長：龍郷町立赤徳中学校 教諭 茅野 裕子 副部長：出水市立大川内中学校 教諭 山本 久代			
<b>第6部会 言語文化</b>				<b>大研修室 第2(東棟3階)</b>			
古典を学び、実生活を豊かにする生徒の育成 ～古人と自分のものの見方・考え方を結び付けて～ ※この授業は鹿児島玉龍中学校の生徒を授業対象とする予定です。				古典を生かす(2年「徒然草」)			
屋久島町立安房中学校 教諭 中村 恵理	鹿児島県総合教育センター 教職研修課長 小野 修	志布志市立伊崎田中学校 教諭 津留眞由美	鹿児島市立星峯中学校 教諭 佐多 雄児	〔部会責任者〕部長：薩摩川内市立里中学校 教諭 池田 貴裕 副部長：鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 教諭 村石 成謙			

(参考) 鹿児島県における教科書使用状況 公立中学校 国語(R3~R6) 光村：6地区 三省堂：4地区  
公立中学校 書写(R3~R6) 光村：4地区 教出：4地区 東書：2地区

8 文部科学省講話 講師：鈴木 太郎（すずき たろう）氏  
 [ 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 ]  
 [ 国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官 ]

9 記念講演 「物語の自由」 講師：町田 康（まちだ こう）氏  
 [ 作家。1962年大阪府堺市生まれ。父は鹿児島県瀬戸内町請島出身。20歳ごろより音楽活動を始め、後、小説に転じる。『きれぎれ』で芥川賞受賞。『くっすん大黒』『告白』『ギケイキ』など著書多数。近著に『男の愛 たびだちの詩』『ふたつの波紋』（伊藤比呂氏との共著）など。『宇治拾遺物語』の口語訳なども手掛ける。南日本文学賞選考委員。 ]

10 研究発表

	研究発表者	指導助言者	司会者	記録者及び会場責任者
<b>第1分科会 話すこと・聞くこと</b> 大研修室 第1（東棟3階）				
全	北九州市立黒崎中学校 教諭 大友 正雄	九州女子大学人間科学部 特任教授 江口 恵子	北九州市立熊西中学校 教諭 日浅 俊子	鹿児島市立坂元中学校 教諭 三神 守
九	都城市立西岳中学校 教諭 稲元 愛	日南市立油津中学校 校長 宮元 芳幸	鹿児島市立伊敷中学校 教諭 小川 皓聖	鹿児島大学教育学部附属中学校 教諭 小笠原 淳
<b>第2分科会 書くことⅠ（説明的な文章を中心に）</b> 大研修室 第3（東棟4階）				
全	水戸市立千波中学校 教諭 小笠原 亜	水戸市総合教育研究所 指導主事 西垣 直美	茨城大学教育学部附属中学校 教諭 中村麻里那	日置市立伊集院中学校 教諭 矢田目美樹
九	大分市立大在中学校 教諭 笠置 千尋	大分県教育庁義務教育課 指導主事 瀧口 忍	日置市立伊集院中学校 教諭 矢田目美樹	鹿児島市立緑丘中学校 教諭 稲留 佳世
<b>第3分科会 書くことⅡ（文学的な文章を中心に）</b> 大研修室 第4（東棟4階）				
全	長門市立三隅中学校 教諭 上山 洋岳	山口短期大学児童教育学科 教授 中村 浩	周南市立須々万中学校 校長 河辺 哲也	鹿屋市立串良中学校 教諭 永野 佑樹
九	名護市立羽地中学校 教諭 高良 恵	沖縄県教育庁国頭教育事務所 主任指導主事 比嘉 幹男	鹿児島市立郡山中学校 教諭 國生 宏子	指宿市立北指宿中学校 教諭 森武 忍
<b>第4分科会 読むことⅠ（説明的な文章を中心に）</b> 中ホール（西館2階）				
全	札幌市立北都中学校 教諭 田中 大地	札幌市立澄川中学校 校長 横道 幸紀	札幌市立西陵中学校 校長 新津 智哉	鹿児島市立吉田北中学校 教諭 村永 理恵
九	平戸市立田平中学校 教諭 加藤 富子	長崎県教育庁義務教育課 指導主事 武藤 悦子	諫早市立諫早中学校 主幹教諭 藤田 明子	鹿児島市立明和中学校 教諭 小西 友佳
<b>第5分科会 読むことⅡ（文学的な文章を中心に）</b> 大ホール（西館2階）				
全	三豊市立詫間中学校 教諭 畑 裕貴	三豊市立仁尾中学校 校長 佐川 圭三	観音寺市立中部中学校 教諭 高橋 由佳	龍郷町立赤徳中学校 教諭 茅野 裕子
九	佐賀市立小中一貫校北山校 教諭 池田 直美	唐津市立肥前中学校 校長 吉岡 浩一	肝付町立内之浦中学校 教諭 宮田 唯	出水市立大川内中学校 教諭 山本 久代
<b>第6分科会 言語文化</b> 大研修室 第2（東棟3階）				
全	町田市立鶴川中学校 教諭 中島 綾乃	中央大学文学部 前特任教授 笠井 正信	八王子市立松が谷中学校 校長 乙幡 英剛	薩摩川内市立里中学校 教諭 池田 貴裕
九	宇城市立不知火中学校 教諭 本郷 茉希	熊本市立出水南中学校 校長 城音寺明生	熊本市立託麻中学校 教諭 岩野 満	鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 教諭 村石 成謙

## 11 参加費・参加申込について

大会参加・宿泊・弁当の申込などの業務は「東武トップツアーズ株式会社」に委託しています。申込受付期間内に、専用ウェブページから手続きを行ってください。

大会	一般 4,000円 学生 2,000円	「公開授業、授業研究・研究協議」「研究発表」いずれの分科会も、それぞれ1分科会50名に参加者を制限します。先着順で申込を受け付けます。	
弁当	お茶付 900円	2日目(14日)の昼食のみの案内です。	
宿泊	13日(木)と14日(金)の宿泊を受け付けます。1泊朝食付きでの案内です。		
	鹿児島ワシントンホテルプラザ [天文館]	8,800円	大会会場より約1.5km(徒歩で約20分)。 レセプション会場より約0.5km(徒歩で約7分)。
	ホテルタイセイアネックス [鹿児島中央駅]	7,700円	大会会場より約2km(車で約10分)。 レセプション会場より約1km(徒歩で約15分)。
レセプション	6,000円	大会会場より約1km(車で約5分)。移動用バス有。	
支払い方法：クレジットカード決済，銀行振込，郵便振替（料金はいずれも税込）			
申込受付期間：令和4年8月22日(月)～9月22日(木)			
<b>【申込み方法】</b> 鹿児島県中学校国語教育研究会ウェブサイトから大会申込専用フォームへ移動して、参加手続きを行ってください。 <a href="https://www.kagoshima-kokugo.com/">https://www.kagoshima-kokugo.com/</a> (右のQRコードからも接続できますので、ご利用ください。)			



【鹿児島県中国研】

【受付業務委託先】東武トップツアーズ(株) 鹿児島支店 (担当：山本俊一)

TEL:099-257-0109 Email:shunichi\_yamamoto@tobutoptours.co.jp

## 12 コロナウイルス感染拡大時の対応について

本大会は、コロナウイルス感染拡大防止に努めながら対面での実施を予定しています。ただし、感染状況によっては、日程や内容等を一部変更することがあります。

また、緊急事態宣言が出されたり、まん延防止等重点措置が適用されたりするような状況になった場合には、以下のような対応をとることをご了承ください。なお、その場合には、全中国研ウェブサイトおよび鹿児島県中国研ウェブサイトにおいてもお知らせいたします。

- (1) 参加者（研究発表者等を除く）を、九州内もしくは鹿児島県内に制限し、研究紀要の発刊ならびに指導案・研究発表等のウェブサイト上への公開を行う。
- (2) 研究紀要の発刊ならびに指導案・研究発表等のウェブサイト上への公開のみを行う。



かごしま県民交流センター周辺地図  
(大会当日は、地下駐車場を無料で利用可能)

鹿児島県中国研  
イメージキャラクター  
「こっくん」



### 【大会事務局】

鹿児島市立鹿児島玉龍中学校  
渡辺 治

〒892-0806 鹿児島市池之上町20番57号  
電話：099-247-7161 FAX：099-248-3160

Mail: kagoshima\_kokugo@yahoo.co.jp  
(問い合わせ等は、可能な限りメールにてお願いします。)